

2021年度導入

紫外可視近赤外分光光度計

UV-VIS-NIR Spectrophotometer

【装置概要】

本装置は、物質による光の透過、吸収又は反射を測定する光分析機器です。その原理は、光源からの光を回折格子などの分散素子により波長成分ごとに分散し、特定の光のみをスリットで取り出された後に物質へ照射して検出器に導きます。検出された信号は処理された後にソフトウェアによりデータ変換やスペクトル解析が行われます。

【特徴】

波長185～3300nmで高感度分析を実現

- 3検出器を搭載し、測定波長全体で高感度化
- 高分解能・超低迷光を実現
- 付属品大型積分球の低開口率化による高精度化



【主な仕様】

製造者	株式会社 島津製作所
型式	UV-3600i Plus
光学系	ダブルモノクロメータ・ダブルビーム方式
検出器	光電子増倍管、InGaAsフォトダイオード、冷却型PbS光導電素子
性能	波長正確さ：紫外可視±0.2nm、近赤外±0.8nm 最高分解：紫外可視域0.1nm、近赤外域0.2nm 迷光：0.00008%以下（波長220nmのヨウ化ナトリウム水溶液） 測光レンジ：-6～6Abs

【オプション】

積分球付属装置（ISR-1503）

内面が球形で内壁が硫酸バリウムなどの反射率の高い光散乱素材で作られたもので、取り込んだ光を散乱させ均一にする効果を持ちます。散乱成分を持つ試料の透過測定や反射測定に使用されます。

MPC-603A用可変角度測定装置

固体試料の入射角度、受光角度を任意に変更した透過測定や絶対反射測定が可能です。